クイックガイド

C-tune II

操作ガイド

はじめに

このガイドでは、C-tune II
の操作方法をタイトルバー、画面上部ナビゲーションバー、ワークスペースバー、画面左ナビゲーションバーについて説明します。

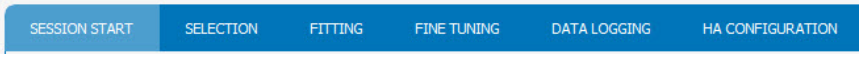
タイトルバー

タイトルバーの左側にある Coselgi C-tune II ロゴは、Coselgi の C-tune II フィッティングソフトウェアを開いていることを示します。タイトルバーの中央では、選択したユーザーと生年月日（カッコ内に年齢）を確認できます。右側では、その他の Microsoft Windows プログラムなどのプログラムを最小化、最大化、終了できます。

画面上部ナビゲーションバー

画面上部ナビゲーションバーは、項目ごとに分かれており、操作している画面に関係なくアクセスできるのツールがあります。

操作に関する項目



これらの項目から、C-tune
の主要なエリアにアクセスでき、
項目を有効にすると、マークされます。C-tune
が補聴器に接続されている、または選択されている場合、どの項目にもアクセスできます。

ツール

ツールはクラウドベースサービス、SoundPlayer、保存、印刷、ヘルプ、セッション終了があります。これらのツールでフィッティングを保存したり、ドキュメントを印刷したり、ヘルプメニューにアクセスできます（複数のオプションがある場合）。最後には、画面上部ナビゲーションバーから C-tune を閉じることができ、データベースや補聴器にデータが保存されます。

クラウドベースサービス

クラウドサービスに基づいた C-tune の機能にアクセスするには、ログインする必要があります。クラウドアイコンを選択するとドロップダウンメニューが開き、「*情報*」を選択してクラウドベースサービスの詳細を確認したり、「*ログイン*」でユーザーの作成やサインインのためのブラウザウィンドウを開いたりできます。ログインは選択したユーザーやセッションに関連しません。

必要な許可が付与されている場合にログインすると、「情報」を再度選択すれば「詳細設定ログ」にアクセスできます（この機能がユーザーの地域で利用できる場合）。ログイン許可に関する詳細は、最寄りの販売店までお問い合わせください。

クラウドアイコンをクリックすれば、クラウドベースサービスのログインやログアウトができます。クラウドアイコンは、常に現在のログインステータスを表示します。

ログインしていない場合

ログインしている場合

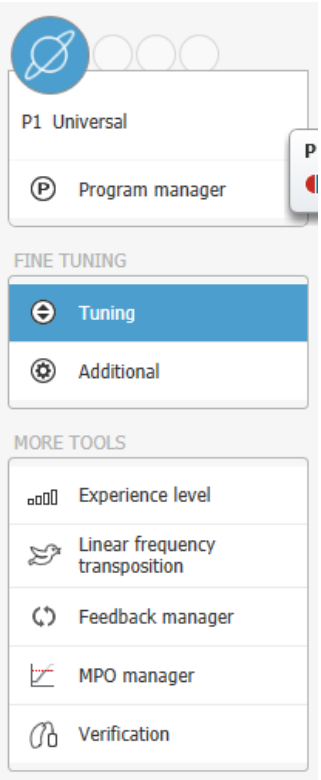
アプリケーションやコンピュータを再起動した場合でも、C-tune はログイン状態を保ちます。セキュリティ目的で、定期的にパスワードの再入力を求められる場合があります。

ワークスペースバー

画面上部ナビゲーションバーの下には、ワークスペースバーがあり、補聴器が接続または選択されているかどうかが表示されます。使用中のプログラミングインターフェースも表示されます。フィッティングの状況によっては、通知アイコンが表示され、マウスカーソルを合わせると、現在のフィッティングに関する問題が表示されます。

ワークスペースバーの右側には、ミュート機能（左右両方の補聴器）やリセット機能などのワークスペースツールがあり、ドロップダウンリストにある複数のリセット機能から選択できます。

画面左ナビゲーションバー



このバーには下記の項目があります。

- 最上部にはプログラムを切り替えるプログラムスターターがあります（「微調整」画面と「データロギング」画面）。
- 画面上部ナビゲーションバーで選択されている項目に応じて、画面左ナビゲーションバーに表示されるツールは変わります。例えば、「微調整」画面においては、画面左ナビゲーションバーの上部でプログラムスターターのすぐ下に、主なツールが表示されます。主なツールの下には、副次的なツール（その他のツール）が表示されています。
- 補聴器シリーズのロゴがあります。画面左ナビゲーションバーの下部には、選択した補聴器シリーズのロゴが表示されます。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、http://widex.pro/gps-startup-guide で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は http://widex.pro/gps-startup-guide からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0。発行日：2020 年 11 月